

原子爆弾の怖さ

半田市立半田中学校 2年 古莊 彩葉

1 戦争の悲惨さを最も感じたもの

私が戦争の悲惨さを感じたものは、原子爆弾です。ひとつの原子爆弾でどれだけの影響があり、犠牲者がどれほど出るのか。それによってどれだけの人々が悲しみ、どれだけのものが壊されるのか。戦争は領土や資源の奪い合い、政治的な対立などが原因で起こります。それによって欲しいものは手に入っても、悪いことが起きるばかりです。そのことを知っていながらも国の欲しいもののために戦う兵士の方や、兵器をつくっている方は自分の国を思っている、相手の国を壊してしまうので複雑な気持ちが混ざり合っているところに悲惨さをとても感じました。



2 最も復旧・復興を感じたもの

私が復旧を感じたものは広島電鉄の路面電車です。

1945年8月6日に原爆が投下されました。市民は怪我の痛みや人々の死に苦しんでいる中、被爆3日後に一部地域で運行を開始したからです。この出来事は市民にたくさんの勇気を与え、同年10月には全線で運行を再開しました。さまざまな苦しみの中で国のために、ヒロシマのために何ができるかを考えた人とその行動があって、今の路面電車があると知り、とても人の強さを感じました。次に復興を感じたものは広島平和記念資料館と広島平和記念碑です。広島平和記念資料館には被爆当時の様子や復旧への歩み、救護する様子、などが分かりやすく、当時の人の気持ちがわかるように展示されています。広島平和記念碑は別名原爆ドームと呼ばれ、原爆が起きた当時のまま残されており、世界遺産にも登録されています。被爆の悲惨さを伝えるために5度の補強工事が行われました。このようにヒロシマの原爆の歴史をたくさんの人に伝えることで戦争が少しでも減り、平和な世界になっていって欲しいと言うことを補強工事や展示などを通して伝えているのではないかと考えました。



3 広島平和研修で学んだこと

私は広島平和研修を通してたくさんのことを学ぶことができました。

一つ目は今の日常がどれだけ幸せかです。今の世の中は朝起きるとその日を迎えることができ、ご飯があり、水も電気もあります。ですが当時のヒロシマでは朝起きることができるだけでも奇跡で、ご飯もなく、水も電気もあるところはとても少なかったです。そんな過去も知らずに今まで生きていたことが悔しいです。



二つ目は世界平和の尊さです。世界平和の現状は各地での武力紛争や数千発を超える核兵器の維持、貧困や格差といった構造的暴力により、安全な暮らしが脅かされている厳しい状況です。国際協力として人道支援や国際法の整備が行われていますが、格差などにより世界平和は遠ざかるばかりです。今回広島平和研修を通して、平和がもたらす価値とは命と安全の保障や心穏やかな日常、人権と尊厳の尊重だと分かりました。ですが、現在の平穏は数々の悲惨な歴史や犠牲の

上に成り立っているという事実や互いの違いによる対立が生まれてしまっているため、世界平和を維持するということはとても難しいと感じました。

三つ目は広島平和研修の意味です。広島平和研修には、教科書や映像だけでは学べないことを、実際にその場所を訪れることで自分自身の問題として考えることができるという意味があると思います。原爆ドームや平和記念資料館を実際に見学することで被爆の歴史を知るだけでなく、そこで何が起きたのかをより深く考えることができました。また、広島を街を実際に歩いたことで、悲惨な出来事が起きた場所が、現在は多くの人が生活する街へと復興していることも感じました。このように、過去の出来事と現在の広島の姿を自分の目で見て学ぶことで、平和についてより深く考えるきっかけになることが広島平和研修の大きな意味だと思いました。

今回の広島平和研修を通して、今の平和な日常が当たり前ではないことや、平和の尊さ、そして平和について学び続けることの大切さを改めて感じました。この学びをこれからの自分の生き方に繋げていきたいです。

4 私たちにできること

私たちにできることは、戦争や平和を過去の出来事として終わらせず、まず知り、考え続けることだと思います。そして、広島で学んだ悲惨な歴史や、平和のために努力してきた人々の思いを、自分だけの学びで終わらせず、家族や友達、これからの世代へ伝えていくことも大切です。また、世界で起きている大きな争いだけでなく、私たちの身近な人間関係にも目を向ける必要があると思います。相手との違いを理由に否定したり、争ったりするのではなく、一人一人の考えや価値観を尊重し、対話を通して理解しようとすることも、平和につながる第一歩です。私は今回の広島平和研修を通して、平和は誰かが与えてくれるものではなく、一人一人がつくり、守り続けていくものだと感じました。広島で学んだことを忘れず、日常の中で平和について考え、自分にできる小さな行動を積み重ねていきたいです。そして、過去の悲惨な歴史を繰り返さないためにも、学んだことを未来に繋げ、誰もが安心して暮らせる社会をつくっていきたいです。

